

日米の若いリーダーシップの育成を目指す「TOMODACHI イニシアチブ」教育プログラム

～日米関係の促進に興味を持つ米国への交換留学生(大学学部生)対象～

2025 年度 TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム ご案内 および 第 12 期生募集要項

米日カウンシルと在日米国大使館が主導する「TOMODACHI イニシアチブ」は、東日本大震災後の復興支援から生まれ、教育、文化交流、リーダーシップといったプログラムを通して、日米の次世代のリーダーの育成を目指している官民パートナーシップで、日本国政府の支援も受けています。住友商事は TOMODACHI イニシアチブに 2013 年に参画し、「TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム」を設立し、2014 年度から 2024 年度の 11 年間で米国の大学に 1 年間交換留学する日本人学生 87 名を支援してまいりました。2018 年度には、募集対象校の拡大や奨学金に付帯するプログラムの拡充を図りました。本プログラムの対象大学に在籍中で、アメリカの大学へ交換留学をする学部生に対して、渡航費および留学中の生活費の支援として、1 名につき年間 180 万円の給付型奨学金を支給します。また、交換留学中に実施される米州住友商事企画によるニューヨークでの研修、また帰国後は、TOMODACHI イニシアチブが運営するアラムナイ・リーダーシップ・プログラムへ参加し、日米関係に深く関わる様々な人々との交流などを通して、次世代のリーダーとしてのスキル向上を支援します。



■ TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム

「TOMODACHI イニシアチブ」の一環として実施される本プログラムは、住友商事による寄付により、アメリカの大学への交換留学をする日本の対象大学の学部生を支援しています。参加者には渡航費および留学中の生活費を支援するため、1名につき年間 180 万円の給付型奨学金が支給されます。また、交換留学中に実施される米州住友商事によるニューヨークでの研修や TOMODACHI アラムナイ・リーダーシップ・プログラムを通して、日米間に関わる様々な人々と交流し、日米関係の促進や世界に貢献できるリーダーになることを目指します。

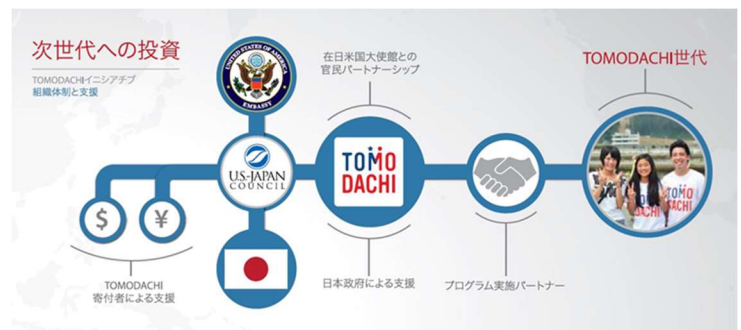
■ TOMODACHI イニシアチブとは

Mission

東日本大震災後の日本の復興支援から生まれ、教育、文化交流、リーダーシップといったプログラムを通して、日米の次世代のリーダーの育成を目指す米日カウンシルと在日米国大使館が主導する官民パートナーシップで、日本国政府の支援も受けています。

Vision

日米関係の強化に深く関わり、互いの文化や国を理解し、より協力的で繁栄した安全な世界への貢献と、そうした世界での成功に必要な、世界中で通用する技能と国際的な視点を備えた日米の若いリーダーである「TOMODACHI 世代」の育成を目指しています。



History

2011年3月11日の東日本大震災の発生を受け、米軍と自衛隊は「トモダチ作戦」を通じて東北地方への緊急人道救援活動で協力し、成功を収めました。この時の協力と友情の精神を基盤に、米国と日本は TOMODACHI イニシアチブを開始しました。TOMODACHI は米日カウンシルと在日米国大使館が主導し、日本政府および日米の企業、団体、個人から支援を受けています。

Program

教育、文化交流、リーダーシップを3つの柱として、プログラムを実施しています。また、TOMODACHI アラムナイ・リーダーシップ・プログラムを通してプログラムの壁を越えて参加者同士が交流を持てるような様々な機会を設け、日本とアメリカの若者たちにインスピレーションを与え、TOMODACHI での経験をさらに一歩進めるサポートも行っています。

■ 住友商事株式会社

住友商事は、グローバルに活動している総合商社です。全世界に展開するネットワークとさまざまな産業分野における企業・消費者との信頼関係をベースに、多様な商品・サービスの国内販売、輸出入および三国間取引、国内外における事業投資など、総合力を生かした多角的な事業活動を展開しています。また、住友商事では、次世代人材の育成支援を社会貢献活動の重点分野と位置付け、アジア発展途上国における「住友商事奨学金」による学業支援や、東日本大震災の復興支援に携わる若者を支援する「住友商事 東日本再生ユースチャレンジ・プログラム」などを実施してきました。「TOMODACHI イニシアチブ」を通じて、将来、日米の懸け橋となってグローバルに活躍する多くのリーダーが誕生することを期待し、支援していきます。

2025 年度プログラム

対象者

北海道大学、東北大学、東京大学、慶應義塾大学、早稲田大学、中央大学、名古屋大学、京都大学、同志社大学、大阪大学、九州大学、琉球大学の交換留学生としてアメリカの大学に留学する学部生

プログラム構成



プログラム終了後も TOMODACHI アラムナイ・リーダーシップ・プログラムへの参加を通し、日米そして世界のリーダーを目指します。

TOMODACHI イニシアチブのこれまでの参加者は日米合わせて約 10,000 名以上を数えます(2024 年 9 月時点)。TOMODACHI 住友商事奨学金プログラムを含む TOMODACHI イニシアチブのプログラム参加者(TOMODACHI アラムナイ)は、TOMODACHI アラムナイ・リーダーシップ・プログラムを通じて多くの日米の若者と交流を持ち続けながら、日米そして世界のリーダーとして活躍するために必要なスキルを磨くことができます。

詳細は以下の TOMODACHI イニシアチブのホームページをご覧ください。
<https://usjapantomodachi.org/tomodachi-alumni-leadership-program/>

第11期生紹介



東出 智樹

東京大学
教養学部

留学先
ワシントン大学

留学先での目標

私は日本のより多くの方が幸福を感じられるように、心理カウンセリングをより身近な選択肢にしていきたいです。そのためにアメリカで最先端の臨床心理学を学びつつ、現地でカウンセリングへの意識調査をすることで、日本でカウンセリングを広めていくためのヒントを得たいと考えています。



井上 雄太

早稲田大学
法学部

留学先
ワシントン大学

留学先での目標

国際安全保障分野を中心に学び、武力不行使原則の妥当性や、人種・移民を背景とする人間の安全保障について最大限の学びを得ます。また、学外の団体にも積極的に所属し、異なる価値観を持つチーム内でリーダーシップを発揮できるよう成長します。



入尾野 智紀

九州大学
工学部

留学先
アリゾナ州立大学

留学先での目標

私は将来、宇宙工学に精通した宇宙飛行士を目指す。そのために、座学、課外活動を通して、宇宙工学の専門性を高めたい。さらに、人との関わりを通して異文化や新たな価値観・視点を学び、異文化理解力を身につけたい。



石川 想真

慶応義塾大学
商学部

留学先
ウイスコンシン大学
マディソン校

留学先での目標

圧倒的に留学生率の低い大学、そして日常使用言語に英語以外がほぼ使われていないウイスコンシンで、本場のアメリカ英語の発音についての見聞、また発音の指導法を深め、それを世界に発信していくためのグローバルマーケティングも実践を伴いながら学んでいきたいと考えています。



金城 杏

琉球大学
国際地域創造学部

留学先
イースタンミシガン大学

留学先での目標

私は、ジェンダー・フェミニズムについてより学術的に多角的な分野から学びたいと考えています。様々な背景を持つ人々が共生し、人々が権利について強く訴えかけてきたアメリカで学ぶことで、現在社会に蔓延る人権問題や格差をなくすことに貢献したいです。



増永 直人

北海道大学
医学部

留学先
オクラホマ大学

留学先での目標

国際的な視点を持ったグローバルに活躍できる医師となり、日本の医学教育・医学研究の向上と国際化に貢献したいです。そのためにこの留学を通して現地の医学生を含め幅広い分野の人々と交流して視野を広げたいと思います。



森本 志音

中央大学
理工学部

留学先
ノースカロライナ大学
シャーロット校

留学先での目標

私は自然環境や持続可能性などの視点から機能的で美しい都市緑化の設計を目指します。ランドスケープアーキテクチャーの学問が進んだアメリカでは最先端の教育や世界的に有名な公園や建築から都市緑化の新たな視点や知識を学びたいと思います。



野末 萌菜子

東北大学
工学部

留学先
ノースカロライナ大学
シャーロット校

留学先での目標

私は宇宙ビジネスを活性化させることで世界全体の宇宙開発を促進させたいです。そのために、航空宇宙分野やビジネスにおいて世界を牽引する存在であるアメリカで、新しいビジネスを生み出す仕組みを学んでいきます。



榛田 実希

九州大学
共創学部

留学先
ワシントン大学

留学先での目標

私は食品ロス問題をビジネスの側面から取り組む事で、持続可能な問題解決を行っていきたくと考えています。そのため先進的に食品ロス対策を行っているアメリカに身を置き、ビジネスの最先端であるシアトルに位置するワシントン大学でビジネスやサプライチェーンについて学びたいです。



吉越 琳

東京大学
教養学部

留学先
ワシントン大学

留学先での目標

文化の混淆が進み、その盗用や所有の正当性が問われる世の中で、芸術や文化をより公正に、かつ創造的に運用するための方策を考えたいです。留学先では、ベリーダンスを専門とする先生のもと、ダンスとジェンダー・人種・権力の相互作用について学びます。

お問い合わせ先

「TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム」事務局

Email: tomodachisumitomo@usjapanCouncil.org

URL: www.tomodachi.org

お問い合わせの際には、在籍大学名、お名前、TOMODACHI 住友商事奨学金プログラムについての質問である旨を明記ください。

TOMODACHI イニシアチブについて >>

www.tomodachi.org

住友商事について >>

<http://www.sumitomocorp.co.jp/>

TOMODACHI 住友商事



2025年度の申請要件等の詳細については本紙の募集要項にてご確認ください。また、申請書類の入手方法および申請締切日に関する情報は、在籍大学の国際交流・留学を担当している部署にお問い合わせください。

2025 年度 TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム 募集要項（学生向け）

本プログラムが指定する大学に所属し、同大学が実施するアメリカの大学への交換留学に内定または決定している大学学部生で、TOMODACHI イニシアチブの趣旨、および本プログラムの目的を理解し、将来、日米関係を通してグローバルに活躍するリーダーになるという強い意思がある学生を募集します。

【本プログラムが指定する対象大学】

北海道大学、東北大学、東京大学、慶應義塾大学、早稲田大学、中央大学、名古屋大学、京都大学、同志社大学、大阪大学、九州大学、琉球大学（対象大学は拡大予定）

【募集内容】

求める人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・本プログラム参加後も日米関係のさらなる発展の為にリーダーシップを発揮し、グローバルに活躍したいという強い希望がある者 ・人物および学業ともに優秀である者 ・TOMODACHI イニシアチブのプログラムの経験者、あるいは将来参加することを希望している学生との交流の機会に積極的に参加する意思がある者
プログラム内容	<p>本プログラムは、アメリカへの交換留学に参加する学生を対象に、日米の次世代リーダー育成を目的とする TOMODACHI イニシアチブの一環として実施されます。参加者は、渡航前のオリエンテーションおよび奨学金授与式、アメリカ留学中に米州住友商事により行われる研修、メンター制度、そして留学後の帰国後報告会を通じて、日米関係に携わる人々と交流し、日米関係の発展に求められるリーダーシップを磨きます。また留学後は、TOMODACHI イニシアチブのプログラム参加者を対象に実施される TOMODACHI アラムナイ・リーダーシップ・プログラムに積極的に参加することが求められます。本プログラムの参加者には、アメリカへの交換留学にかかる渡航費や生活費の支援を目的とした奨学金が付与されます。</p>
奨学金支給金額	<p>180 万円(給付型)</p> <p>※支給スケジュール:2025 年 7 月 25 日までに準備金として 45 万円を、2025 年 8 月から 2026 年 4 月まで、毎月 25 日までに 15 万円ずつ支給する。25 日が土日祝祭日または管理者の休業日にあたる場合は、直前の管理者の業務日までに支給する</p> <p>※上記に加え、ニューヨークでの研修中にかかる移動費および宿泊費、また留学先大学からニューヨークまでの移動費は米日カウンシル及び住友商事にて援助される</p>
応募要件	<p>以下のすべての条件を満たしている必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本プログラムが指定する大学に在籍している学部生であること ・在籍大学の交換留学生として、アメリカの大学に 2025 年 8 月または 9 月から1年間(約 8~10 カ月間)留学することが内定し、かつ単位取得を目的としたアメリカ現地での留学を計画している者(オンライン受講での留学は対象外とする) ・日本国籍又は日本における永住権を保持している者 ・過去連続して 37 ヶ月以上のアメリカ在住・滞在経験がない者 <ul style="list-style-type: none"> 注)6 歳になるまでの滞在経験は含まない 注)過去連続して 13 カ月以上のアメリカ在住・滞在経験がない者が望ましいが、連続する在住・滞在経験が 37 カ月未満の場合は応募可能 ・他の給付型留学奨学金を受けない者(但し、米日カウンシル渡邊利三寄付奨学金については、主催者側の判断によって同時給付を認める場合もある) <ul style="list-style-type: none"> 注)貸与型の奨学金及び国内の大学に就学するための奨学金であれば、本プログラムとの重複受給は可能 ・在籍大学の学長からの推薦を受けられる者 <ul style="list-style-type: none"> 注)応募書類を在籍大学に提出した学生の中から、在籍大学内での審査を経て、在籍大学の学長による本奨学金プログラムへの推薦者が決定(詳細は本要項の「応募方法と選考プロセス」参照) <p>※留学先での専攻分野に関しての限定はないが、社会科学関連(ビジネス、法学、国際関係、政治学などを含む)、人文系、理工系であることが望ましい</p> <p>※学期中に語学コースに在籍する場合は対象外とする。学期開始前に開催される短期の語学コースへの参加は可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以下の研修・会議等に全て参加できること <ol style="list-style-type: none"> ① 2025 年 6 月(予定)に行われるオリエンテーション、および 7 月 7 日・8 日(予定)に都内で行われる式典と事前研修 ② 留学中に米州住友商事企画で実施されるニューヨークでの研修プログラム(2026 年 1 月~3 月頃を予定)) ③ 帰国報告会(2026 年 6 月~7 月を予定) ・内定後~プログラム期間中、各種提出物(報告書など)を定められた期限内に提出できること ・住友商事役員によるメンター制度の利用を希望する者は、制度の趣旨を理解し積極的に活用すること

募集人数	対象大学より約 10 名
応募方法と 選考プロセス	<p>アメリカの大学との交換留学プログラムの学内選抜に合格後、以下の手順で応募すること</p> <p>1: 在籍大学の国際交流・留学を担当している部署で募集要項・申請用紙の入手方法を確認する ※</p> <p>2: 次項に記載の応募書類を在籍大学の国際交流・留学を担当している部署へ提出する その後、在籍大学による審査を経て、在籍大学の学長による本奨学金プログラムへの推薦者が決定される ※</p> <p>3: 事務局、住友商事による書類審査・面談を経て、在籍大学を通して合否が通知される</p> <p>※在籍大学への書類提出先及び提出期日は、在籍大学の国際交流・国際教育担当部署に問い合わせること 該当部署が不明な場合は、「本奨学金プログラムに関するお問い合わせ先」に確認すること</p>
合格発表	結果は、5 月上旬までに在籍大学を通じて通知します。
応募書類	<ul style="list-style-type: none"> ・TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム申請用紙(所定用紙) ・英文エッセイ(所定用紙) ・留学先大学からの受入れ許可書の写し 注)申請時に留学先大学から発行されていない場合は、後日提出を認める ・在籍大学の英文成績証明書 ・TOEFL iBT, TOEFL ITP 又は IELTS の公式スコアレポートの写し 注)オンライン上で確認できるスコアレポートでも可 注)応募するにあたって満たす必要のあるスコアの規定は無い ・パスポートをカラーで印刷したもの(顔写真があるページ) 注)日本国籍保持者でない場合は、在留カードの写しを添付すること 注)申請時にパスポートを保持していない場合は、後日提出を認める <p>※選考の過程で必要と判断した場合、更なる書類の提出を求める場合がある</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・留学の内容が変更になった場合や交換留学への参加が不可能になった場合は、早急に TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム事務局まで通知すること ・留学中、各学期終了後には留学先大学からの成績証明を TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム事務局まで提出すること ・留学前に実施する奨学金授与式、留学中に米州住友商事が実施する研修、帰国後に実施する留学報告会への参加を必須とする ・以下のいずれかに該当した場合は、内定の取り消し、または奨学金の支給を停止することがある。場合によっては既に支給した奨学金の返還を求めることがある <ul style="list-style-type: none"> 1: 1年間のアメリカの大学との交換留学への参加が不可能になった場合、もしくは途中で中止になった場合 2: 在籍大学または留学先大学から留学の継続が不適当と判断された場合 3: 本奨学金プログラムの関連行事・研修を無断で欠席した場合 4: 留学先での学業成績が不良(単位取得不可等)の場合 5: 法律や社会秩序に反する行為を行った場合 6: 予定より著しく早く帰国した場合 7: 虚偽の申告をしていることが判明した場合 8: 必要な書類が期日までに提出されなかった場合 9: 応募条件が満たせなくなった場合 10: 米日カウンセル、住友商事の名誉を傷つける行為を行った場合
個人情報の取扱 いについて	<p>(1) 個人情報の管理 事務局、住友商事および米州住友商事は、本奨学金に関連して取得した応募書類・申請書類・報告書等に記載される全ての個人情報を個人情報保護に関する法令等に基づき、細心の注意のもと管理・利用・破棄する。また、法令により認められている場合を除き、あらかじめ本人の同意を得ないで、個人情報を他の第三者へ開示・提供しない。</p> <p>(2) 個人情報の利用目的 事務局、住友商事および米州住友商事は、本奨学金に関連して取得した個人情報を適切に管理し、下記以外の目的には利用しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1: 本奨学金奨学生を選考するため。 2: 本奨学金支給事務のため。 3: 本奨学金に関連する各種研修・イベント・メンタリング・アンケート・アラムナイプログラム等を実施するため。 4: TOMODACHI イニシアチブにて実施するイベントの案内や参加の際の連絡手段のため。 5: 事前に奨学生本人の承諾を受けた上で、広報目的に利用するため。
本奨学金 プログラムに 関する お問い合わせ先	<p>TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム事務局(公益財団法人米日カウンセルージャパン TOMODACHI イニシアチブ内)</p> <p>Email: tomodachisumitomo@usjapanCouncil.org</p> <p>※お問い合わせの際は、在籍大学名、お名前、TOMODACHI 住友商事奨学金プログラムについての質問である旨を明記ください</p> <p>※電話でのお問い合わせは受け付けておりません</p> <p>※プログラムの詳細は以下の TOMODACHI イニシアチブのサイトでもご確認いただけます。 www.tomodachi.org</p>